

ルネスクラシックシリーズ vol. 8

第二弾

日本の心

世界で活躍中の
3人のソリストの
里帰りトーク&コンサート

森谷真理 (ソプラノ)
内山詠美子 (マリンバ)
中桐望 (ピアノ)



2017年9月1日(金)

18:00開場 18:30開演

ルネスホール

(おかやま旧日銀ホール)

岡山市北区内山下 1-6-20

入場料

一般 3500円 学生 2000円 当日券 4000円

8歳未満のお子様は入場無料

(お席が必要な場合はご予約下さい)

お問い合わせ

086-279-8214(中桐)

主催 日本の心コンサート実行委員会、ルネスクラシック実行委員会

共催 Renaiss Hall(NPO法人バンクオブアーツ岡山)

助成 公益財団法人 福武教育文化振興財団

協賛 Pearl (パール)

後援 RSK山陽放送、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、株式会社ヤマハミュージック・リテイリング岡山店
岡山県立岡山城東高等学校同窓会、東京芸術大学音楽学部同声会、関西桐朋会



19世紀後半から20世紀前半のクラシック名曲と、
その頃の日本・明治時代の歌曲「この道」「初恋」、
“日本の心”にふれる時間を私たちと一緒に楽しみませんか？



(出演者プロフィール)

森谷 真理 Mari Moriya (写真左)

武蔵野音楽大学音楽科卒業、同大学院音楽専攻卒業後、渡来しマネス音楽院プロフェッショナルコース修了。オーストリア・ウィーン在住。世界各地のコンクールにて優勝、受賞歴多数。主な賞歴としては、第5回ヴェロニカ・ダン国際声楽コンクール1位、第2回チャールズ・ハリーナム声楽コンクール1位、クラ・ミューズ声楽コンクール1位、カーディフ国際コンクールコンサート賞、及び日本代表、メトロポリタンオペラ・ナショナルカウンスルオーディションファイナリストなど。2006年にバームビーチオペラにて夜の女王役としてデビューした後、数多くの劇場に出演している。2006年年末には、ニューヨークのメトロポリタンオペラにて、ジェームズ・レヴァイン指揮、ジュリー・テイモア演出「魔笛」夜の女王役で出演し大成功を収めた。同役では他に、ウィーン・フォルクスオーパー、ドイツ・ライプツィヒ・オペラ、スコティッシュ・オペラ、グランドボーン音楽祭のツアー、シアトル・オペラ、バルムビーチ・オペラ、ピッツバーグ・オペラ、ボートランド・オペラの各劇場に加えて、ボルチモア交響楽団、ワシントン・ナショナル交響楽団などと共演している。ヨーロッパでの活躍は、アイルランド・オペラにて「トゥーランドット」リュウ役としてのデビューによって始まる。その後も「ナクソス島のアリアドネ」、「ドン・ジョヴァンニ」で同劇場に再登場、プレミッシュ・オペラにてフィリップ・グラス作曲「アクナーテン」に出演。2010年から2014年までオーストリア・リンツ州立劇場の専属歌手として「ラクメ」、「マリア・ストゥアルダ」、「バラの騎士」、「リゴレット」、「コジ・ファントゥッチ」、「ラ・ボエーム」、「チェレントラ」、フィリップ・グラス作曲「失われたものの痕跡」、「カルメン」、宮本啓門演出「魔笛」、「カルミナ・ブラーナ」、「ラインの黄金」、「ヴァルキューレ」などに出演した。日本では2014年びわ湖ホールオペラセレクション「リゴレット」ジルダ役にて日本でのオペラデビュー、2015年二期会プロダクション「魔笛」夜の女王役を務めた。ボートランド国立放送交響楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団、イスラエリ・カメラータ、アイルランド国立交響楽団、ソウルフィルハーモニー、ウィーンソリスト室内管弦楽団、東京交響楽団、読売交響楽団などのオーケストラと共演している。2017年は、サントリーホール「成人の日コンサート」ドンナ・アナ役、びわ湖ホールプロデュースオペラ「ラインの黄金」フライア役、三河市民オペラ「イル・トロヴァトーレ」レオノーラ役などに出演、栃木県小山市出身、小山評定ふるさと大使。

内山 詠美子 Emiko Uchiyama (写真中央)

岡山市に生まれ、ヤマハ音楽教室にて3歳よりマリンバとピアノと作曲をはじめとした音楽教育を受ける。幼少時代よりソリストとしてステージに立ち、大阪フィルハーモニー交響楽団、香瀬フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、岡山交響楽団などの数々のオーケストラと共演。2000年、第1回日本ジュニア打楽器コンクールにて第1位。2002年、第3回世界マリンバコンクール(ドイツ)にて、ファイナリスト入選、安倍主子賞を受賞。また、第4回世界マリンバコンクール(中国)では第3位を受賞。2006年、アメリカで行われた打楽器最大の祭典にて、世界的マリンバ奏者で作曲家の安倍主子と共演。10歳の頃から安倍主子に学び、また水野与久、佐野基一の元で研鑽を積み、2006年に桐朋学園大学を首席卒業。その後、オーストリアへ渡り、アントン・ブルックナー大学、ザルツブルク・モーツァルテウム大学にてボクダン・バカヌ、レオンハルド・シュミディンガー、ベーター・サドロ、ヨーゼフ・グンペンガーの各氏に師事、最高評価にて大学院を修了。在籍中には、初の名誉奨学生として賞されるほか、ウェーヴ・デュオとしてヴラディミア・ベトロフと共に参加した。2007年、第3回国際マリンバコンクール(ベルギー)では、第1位、新曲課題ベストプレーヤー賞、安倍主子賞、観客投票によるベストプレーヤー賞の全ての賞を受賞。2008年よりウェーヴ・マリンバ・カルテットのメンバーにて活躍。2009年、ソリストとしてもウィーン楽友協会やフェストシュピールハウスにてウィーン・トーン・キュンストラ管弦楽団、ザルツブルク州立吹奏楽団などと共演。2014年、日本大使館(ベルリン)にて「平和の為のコンサート」に出演。リンツ・ブルックナー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、シュトラウス管弦楽団、アムステルダム・バロック管弦楽団、オルフェオ・バロックオーケストラにおいて打楽器・ティンパニ奏者としても活躍。2009年、ザルツブルクで行われた世界マリンバコンクールにて特別審査員として招かれ、数々の国際マリンバ・打楽器フェスティバルにて講師を務める。2010年、福武文化奨励賞を受賞。2013年、オーストリア国家指導資格を取得。2014年よりオーストリア上部州の複数の音楽学校にて教鞭をとる。コンサート活動に加え、CDも多数リリース。現在、ソニー・クラシックとの契約を結び、これからの収録も期待される。現在、オーストリア在住、オランダのアダムス社のアーティストとして活躍中。

中根 望 Nozomi Nakagiri (写真右)

岡山市に生まれ、3歳よりピアノを始める。岡山城東高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。2013年に同大学院修士課程を首席で修了。在学中にアリアドネ・ムジカ賞、卒業時にアカンサス音楽賞、安宅賞、大賞典銀賞、同声会賞、三差地所賞、クロイツァー賞など数々の賞を受賞する。第17回吹田音楽コンクール第1位、第78回日本音楽コンクール第2位、第3回ロザリオ・マルシアール国際ピアノコンクール(ウィーン)第2位、併せてコンクール委嘱新曲課題曲の最優秀演奏者に贈られる Sonja Huber 賞受賞。第58回マリア・カナルス国際音楽コンクール(バルセロナ)第2位、併せて聴衆賞受賞。第8回浜松国際ピアノコンクールでは歴代日本人最高位となる第2位を受賞。ピアノデュオも積極的に活動しており、第17回吹田音楽コンクール・ピアノデュオ部門で最高位(1位なしの2位入賞)、第18回シューベルト国際ピアノデュオコンクール(チェコ)第1位、併せてシューベルト賞を受賞。これまでに岡山フィルハーモニック管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、藝大フィルハーモニア、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、Orquesta Sinfonica del Valles(スペイン)等、多数オーケストラと共演する他、国内外でのリサイタルや音楽祭に多数出演。岡山芸術文化賞・グランプリ(2010年)、福武文化奨励賞(2015年)、日本ショパン協会賞(2015年)受賞。2014年秋より、ロームミュージックファンデーション奨学生としてボートランドで研鑽を積み、2015年1月にはデビューCD「ショパン&ラフマニノフ」(オクタヴィアレコード)をリリース。これからの活躍が楽しみな若手ピアニストの一人として、音楽ファンおよび音楽評論家・ジャーナリスト等から期待を寄せられている。ピアノを内山優子、近藤邦彦、平川真理、戸田田鶴子、大野真嗣、角野裕、エヴァ・ボフォツカの各氏に、ピアノデュオを角野裕氏、室内楽を岡山謙、伊藤恵の各氏に師事。現在は東京・岡山を中心に演奏活動を行う他、後進の指導にも力を注いでいる。

チケット取り扱い

ルネスホール
Tel. 086-225-3003
<http://www.renaiss.or.jp>

岡山シンフォニーホールチケットセンター
Tel. 086-234-2010
<http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/page24.php>